

Medical Science

Clinical Laboratory Technology

確かな技術が、医療の信頼を築く



順天堂大学

医療科学部 臨床検査学科

検査室から医療の最前線まで 医療の質を支える

臨床検査技師は、検査の結果からいち早く病因を発見し、確かな診断に導く検査のスペシャリストです。血液などの生化学検査、心電図・超音波などの生理機能検査、遺伝子検査などを担当し、診断や治療の方針に不可欠なデータを提供します。医療が高度化し、健康寿命や未病への取り組みなど予防医学が発展する現在、活躍の場はさらに広がっています。順天堂大学医療科学部臨床検査学科は臨床検査学教育に長い伝統と実績を持ち、質の高い教育と最先端の施設で次世代の医療を支える人材を育成します。

めざせる資格▶▶ 臨床検査技師（国家資格）

卒業後の進路▶▶ 病院・診療所・健診センター等の医療機関、保健所等の行政機関、臨床検査センター等の検査機関、検査試薬や医薬品のメーカー、治験施設支援機関（SMO）、医薬品開発業務受託機関（CRO）等、教育・研究機関、大学院進学



心臓の疾患を持つ方の 社会復帰に貢献する

「心臓疾患のある方のリハビリテーションで社会復帰の手助けをしたい」という思いが、私の研究の原動力です。患者さんがスポーツで体力の向上をめざす場合、体力を測定してどれぐらいの運動をしたらいいかを正確に知る必要があります。研究では、自転車エルゴメーターを用いた心肺運動負荷実験を行います。徐々にペダルが重くなる過程の血圧・心電図・呼気ガスを測定し、心疾患の予後を予測したり最適な運動強度を求めることができます。「心臓リハビリテーション指導士」としての専門性と経験を、学生の指導にも活かしたいと考えています。



講師 市川 由理

生理検査学 呼吸・循環生理
運動生理学



「細胞検査士」として がん細胞の早期発見をめざす

私は「細胞検査士」として細胞診の研究に取り組んでいます。細胞検査士とは、患者さんの細胞から標本を作製して顕微鏡で観察し、がん細胞などの異常の早期発見を行う仕事です。がん細胞は教科書どおりの典型的な形をしていないことも多く判断が難しい場合もありますが、それだけにやりがいがあります。研究ではがん遺伝子の働きに関係する環状RNAに着目し、がんの新しい診断マーカーや治療に対する有力なターゲット分子の発見をめざしています。病理検査学実習などの指導を通して、病理検査および臨床細胞学の奥深さを学生に伝えたいと思います。



講師 梅森 宮加

病理検査学 臨床細胞学



家族性アルツハイマー病の 病態メカニズム解明に挑む

世の中には、病気の原因やメカニズムが不明の疾患がたくさんあります。なかでもアルツハイマー病は、認知症の約60%を占め世界的に社会問題となっている疾患ですが、病態メカニズムは未だに解明されていません。私は「機能未知の遺伝子変異による疾患の病態メカニズム解明」をテーマに、家族性アルツハイマー病の研究をしています。具体的には、患者さんや健常者のiPS細胞をゲノム編集し、疾患遺伝子を組み込んだ細胞を神経細胞に誘導してその機能を調べています。学生の皆さんには、大学の学びを通して研究の面白さを実感してもらえればと思います。



講師 堀 敦詞

臨床検査学 分子生物学
臨床化学

What You'll Learn
何をどう学ぶか？

1 年次 一般教養と医学の基礎を学ぶ

医療人・社会人に必要な一般教養とともに、コンピュータや外国語など汎用性の高い知識や技能を学修します。専門基礎分野では解剖学・生化学・病理学など医学系の科目で、人体の機能や構造、疾病の病態など医療専門職者に必要な基礎知識と技術を身につけます。専門分野では臨床検査学入門など臨床検査の基礎を学修します。

2 年次 臨床検査の理解を深める

一般教養を深めるとともに、医学の関連領域を含めた専門科目を学修します。病態学など病気に関する専門知識を身につけるとともに、血液検査・生化学検査・微生物検査・遺伝子検査など臨床検査における多様な検査方法を学びます。さらに豊富な実習・実験を通して臨床検査技術を実践的に身につけ、臨床検査の理解を深めます。

実習で磨く専門力

3年次に行われる臨地実習では、実際の医療現場で臨床検査技師の業務を学びます。授業で学んだ知識や技術を実践的に理解し、臨床検査技師に求められる力を養います。



幅広い実習先の学びで
将来の目標を定める

准教授 澁田 樹

本学の臨地実習の大きな特色は、実習先の幅広さです。実習先は順天堂大学医学部附属6病院をはじめ計30を超える施設。急性期医療の病院や専門領域に特化した医療機関など特色も多様で、自分の関心や将来像をふまえて学べる環境が整っています。実習を通して、臨床検査が診療行為の選択に直結することを実感するとともに、「自分はどんな臨床検査技師をめざしたいのか」が明確になると思います。国家試験に向けて学びの質を高め、卒業後の目標に向けたステップアップの場になることを期待しています。



国内有数の最先端医療に触れ
将来の目標が定まった

2025年度卒業
(2022年度入学) 小岩井 れいさん

実習先 》 東京大学医学部附属病院

国内でも指折りの病床数や症例数を有し最先端の医療を提供する実習先で、検体数や患者数、病院の規模を肌で感じました。また現場で働く臨床検査技師を間近で見て、不測の事態に冷静に対処する様子や、資格勉強など自己研鑽に励む姿に感銘を受けました。実習中は「順天堂の学生さんはよく勉強しているね」と言っていたこともあり、大学で学んだ知識や技術が確実に活かされていると感じました。この経験を通して、大学病院で働く臨床検査技師をめざす決意を固めました。

主な実習先

順天堂大学医学部附属順天堂医院、順天堂大学医学部附属浦安病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター、東京大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、東京慈恵会医科大学西部医療センター、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター、東京医科大学病院、東邦大学医療センター大橋病院、日本大学病院、聖路加国際病院、国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、虎の門病院、がん研有明病院、千葉県がんセンター、千葉県こども病院、千葉市立青葉病院、亀田総合病院、済生会中央病院、埼玉県済生会川口総合病院、船橋医療センター

就職実績と支援

本学の医学部附属病院をはじめ、首都圏の主要な医療機関を中心に全国で就職実績があります。アドバイザーが中心となって、就職や大学院進学相談を随時行っています。



超音波検査の分野で
専門性を高めたい

2025年度卒業
(2022年度入学) 幅 ななみさん

就職先 》 順天堂大学医学部附属順天堂医院

技術とともに専門的な知識も深めたいと考え、幅広い検査を行う病院を志望していました。説明会や見学で検査体制や職場の雰囲気を知り、働きながら成長できる職場であると感じました。

大学の学びや臨地実習を通して実感したのは、検査結果が診断や治療に大きく関わることです。検査結果の先にいる患者さんを意識しながら、診療に役立つ質の高い検査を提供できる臨床検査技師として活躍することが目標です。将来的には超音波検査の分野で認定資格の取得をめざし、専門性を高めたいと考えています。



自分が成長できる環境で
信頼される臨床検査技師に

2025年度卒業
(2022年度入学) 林 友理さん

就職先 》 東京慈恵会医科大学附属病院

就職活動では「自分自身が成長し続けられる環境で働きたい」という思いを大切にしました。そのため、多くの症例に触れ幅広い経験を積むことができる規模の大きな病院を中心に考えました。等級に応じた研修制度で段階的に専門性を高められる点や、附属病院間の異動制度でさまざまな現場の経験を積めることに魅力を感じて就職を決めました。経験を積んで資格取得にも積極的に挑戦し、患者さんだけでなく医師・看護師などを含むチーム医療で信頼される臨床検査技師になりたいと考えています。

主な就職先

順天堂大学医学部附属順天堂医院、順天堂大学医学部附属浦安病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、自治医科大学附属病院、日本大学病院、東京女子医科大学病院、慶應義塾大学病院、東京医科大学病院、東京慈恵会医科大学病院、東邦大学医療センター大橋病院、杏林大学医学部付属病院、聖路加国際病院、聖マリアンナ医科大学病院、三重大学医学部附属病院、虎の門病院、三井記念病院、亀田総合病院

就職を見据えた学びにより
高い国家試験合格を実現
国家試験 合格率〔臨床検査技師〕

本学
100%

※本学合格率は、2025年度実績における合格者数(96名)/受験者数(96名)をもとに算出しています。(全国平均 85%)

3 年次 研究分野の専門性を高める

臨地実習を通して実践能力の強化をめざします。医療現場における臨床検査部門の役割を理解し、医療チームの一員としての責任と自覚を養います。総合演習では、特別研究のテーマ設定や臨床実習の事前事後指導を通して専門的知識の進化を図ります。自分の関心や研究分野から将来像を具体的にイメージします。

4 年次 臨床検査のプロフェッショナルへ

特別研究で臨床研究を計画し実行できる能力を養成します。また「臨床検査医学特講」で大学院進学など将来の多様なキャリアパスに備えます。卒業後の臨床検査技師国家資格取得に向けて勉強に取り組むとともに、医療機関・研究機関等への就職や大学院進学など、将来の目標に合わせて専門性と技術力を高めます。

就職など

大学院 修士課程

めざす
進路



病理検査分野の専門性を高めたい

3年次 (2023年度入学) 津田 泉さん

臨地実習や大学の実習を通して実感したのは、「臨床検査技師に求められるのは検査の正確性だけではない」ということです。検査結果が示す病態や治療方針を理解した上で、検査に関わることが重要だと学びました。3年次の授業では「細胞診学」に力を入れています。細胞診は組織診と比べて患者さんへの侵襲が少なく、がんの早期発見に有用な病理検査です。顕微鏡でがん細胞を観察し、形態的な特徴を理解することができました。病理検査学や組織学の学習にも取り組んでおり、将来は病理検査分野を専門にしたいと考えています。



医療の一端を担う臨床検査技師の役割を実感

2年次 (2024年度入学) 今津 結梨さん

臨床検査技師の役割をリアルに実感できたのが、「病理検査学実習」の授業です。染色などの操作に取り組み「なぜ行うのか」「どんな原理で結果が得られるのか」を考える中で、検査がどのように診断に役立つのかを具体的にイメージすることができました。今後は、生理検査や遺伝子分析など、幅広い検査分野を学びたいと思っています。現在は国家試験対策を少しずつ進めながら、心電図検定や遺伝子分析科学認定士の取得に向けた勉強にも取り組んでいます。特に心電図は、波形を理解することで患者さんの状態を把握できる点に魅力を感じています。



設備が新しく充実したキャンパスが魅力

1年次 (2025年度入学) 森下 裕太さん

臨床検査学科のある浦安・日の出キャンパスは、設備が非常に新しくラーニングcommonsも充実しています。快適に授業や実習を受けられる環境が気に入っています。印象に残っている授業は「微生物学」。微生物は人の手で培養できる種類が多く、その一生を観察することができます。微生物の産生物質による分類や菌特有の特徴を用いた観察法など、生物が好きな私にとってはまさに大学で学びたい内容でした。今後は、臨床化学、微生物学、病理学など興味のある分野の専門性を高めるとともに、「統計学」の授業でデータの分析法を身につけたいと思います。



順天堂大学

医療科学部

臨床検査学科／臨床工学科

浦安・日の出キャンパス事務室

〒279-0013 千葉県浦安市市の出6丁目8-1

☎ 047-354-3311

✉ iryoukagaku@juntendo.ac.jp

<https://www.juntendo.ac.jp/academics/faculty/ms/>



JR京葉線・武蔵野線「新浦安」駅下車 バスC乗り場より

● 16番系統 日の出七丁目行バス7分「順天堂大学・日の出 正門」下車 徒歩1分

● 17番系統 日の出七丁目行バス7分「順天堂大学・日の出 東口」下車 徒歩5分